

大鹿村中央構造線博物館たより 154号



2022年3月発行

TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

中央構造線博物館またまた臨時休館

新型コロナウイルスの感染拡大の波が再度到来し、長野県全域がまん延防止等重点措置の対象地域となってしまいました。そのため、中央構造線博物館も、2022年1月27日～3月6日まで臨時休館をいたしました。この博物館たよりが皆さんのところに届く頃には再開できていると良いのですが。

中央構造線博物館改修工事予定

中央構造線博物館の隣のろくべん館では、改修工事が着々と進んでおり、今月末には工事が完了予定となっています（オープン時期は未定）。一方、中央構造線博物館の改修工事は、当初の予定では、今冬のうちに終わるはずでしたが、全国的な資材不足の影響等で、今年の4月～6月で行うことになりました。詳しい日程はまだ、決まっていませんが、4月のうちは、博物館は開館した状態で工事を進め、GW明け～6月末くらいまで、博物館を休館しての工事を予定しております。また、工事に先立ち、2階国土交通省展示部分は、3月から見学不可となります。大変申し訳ありませんが、どうぞご了承ください。

なお、初期の計画図には、ろくべん館と中央構造線博物館が連結通路でつながるような図が描かれていましたが、最終的にはつながらないことになりました。工事完了後も、これまで通り、それぞれの出入口からお入りください。



写真1

工事が着々と進んでいるろくべん館

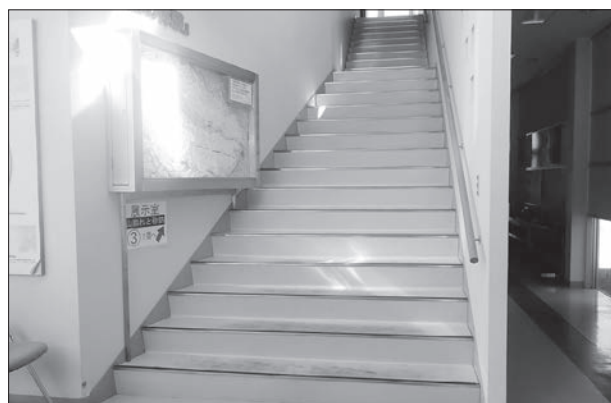


写真2

改修後は、2階展示部分が1階に移動になります

南アルプスジオパークの今後につままして

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークは、一昨年の再認定審査で「条件付き認定」となってしまい、今後どうするかを、富士見町、伊那市、大鹿村、飯田市の構成4市町村で話し合っておりましたが、この度、富士見町が脱退し、残りの3市町村で継続を目指すことになりました。今秋に、再審査を受けて、認定されれば継続となり、認定されなければ取り消しとなります。再審査までの時間はあまり残っていない状況ですが、これまで通り、村民の皆様にはご協力いただきながら、認定されるよう努力していくことになりました。（宮崎）